

2020 年 5 月 14 日

SAAJ NEWS RELEASE

「新型コロナウイルス感染症と企業開示について」の声明を公表

公益社団法人 日本証券アナリスト協会(会長：新芝 宏之 岡三証券グループ 代表取締役社長)は、5 月 14 日に「新型コロナウイルス感染症と企業開示について」の声明を公表しました。

【声明のポイント】

- ✓ 新型コロナウイルス感染症の深刻な影響下にある、2020 年 3 月期の財務諸表については、例年に比べてはるかに高い不確実性の下で作成されており、その財務諸表のリスクをよりよく理解するためには、作成者がどのような仮定を置いて会計上の見積りを行ったかについて知る必要がある。
- ✓ 4 月 10 日に公表された企業会計基準委員会の議事概要と、5 月 11 日に公表された同追補では、「そのような仮定に重要性がある場合には、追加情報としての開示が求められるものと考えられる」とされている。今後、有価証券報告書、事業報告等、決算短信などの制度開示書類はもちろん、アニュアルレポートや決算説明資料など任意開示書類においても、新型コロナウイルス感染症に関する情報の積極的な開示を強く期待したい。
- ✓ 新型コロナウイルス感染症の影響に係る開示は、財務情報に限定されるものではない。例えば、会社側が合理的に次期の業績予想を見積もれない場合には、特に新型コロナウイルス感染症のリスクを各企業がどう評価し、そのリスクが企業の事業環境をどう変え、新たな事業環境に企業経営者がどう対応していこうとしているのかといった情報も、各企業の業績を予想し企業価値を評価する上で、極めて重要である。
- ✓ 新型コロナウイルス感染症の影響下での非常に厳しい決算発表・株主総会スケジュールの中、十分な開示資料の作成が間に合わないような場合でも、ポストコロナの事業環境や企業戦略について、企業と投資家・アナリストの間で従来以上に対話の機会を増やし、より建設的な対話が行われることを、当協会は強く期待している。

【添付資料】 新型コロナウイルス感染症と企業開示について

本件に関するお問い合わせは下記まで

SAAJ 公益社団法人 日本証券アナリスト協会

メール：m-kaimasu@saa.or.jp

担当：職業倫理教育企画部長 かいます 貝増 眞